

令和 7 年度事業報告

1. 配合飼料価格差補てん事業

(1) 契約者数（年度当初）（単位：人）

乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	うずら等	計
323	292	45	40	6	1	707

(2) 契約数量（年度当初）（単位：トン）

乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	うずら等	計
111,642	125,853	107,861	202,051	4,966	400	552,773

(3) 通常積立金及び別途納付金徴収額（単位：円）

第 1 四半期	第 2 四半期	別途納付金	第 3 四半期	第 4 四半期	計
109,749,600	109,073,600	48,720	112,686,400	110,260,000	441,818,320

（通常積立金 800 円／トン当たり、別途納付金 210 円／トン当たり）

2. 令和 6 年度飼料価格高騰対策緊急支援事業（県単）

(1) 配合飼料価格高騰対策事業

生産者積立金に対する助成 契約数量あたり 400 円/ t

対象年度	単 価	契約数量(t)	補助金交付額(円)
令和 6 年度 第 4 四半期	400 円/ t	139,260	55,704,000

3. （一財）畜産環境整備機構リース事業

(1) 貸付料等納入状況

直接リース 8 件 9,203,941 円

4. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）（中央畜産会）

(1) 事業参加承認額（第 1 回要望、第 2 回要望計）

ア 事業内容

導入機械 計 9 台 4 協議会取組主体 5 名

（酪農 1 名・肉用牛 2 名・和牛繁殖 1 名・養豚 1 名）

イ 事業費（補助金）2,933,700 円（1,333,500 円）

5. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）成果報告(中央畜産会)

(1) 令和 5 年度

ア 事業内容

導入機械 計 29 台 5 協議会取組主体 10 戸

（取組主体：酪農 1 名・肉用牛 2 名・和牛繁殖 7 名）

イ 事業費（補助金）126,709,000 円（57,595,000 円）

6. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（優良繁殖雌牛更新加速化事業）

（全国肉用牛振興基金協会）

(1) 事業参加者 2 戸（栃木市）交付対象者 2 戸

(2) 補助金実績報告額 10 万円 7 頭 700,000 円

7. 肉用牛経営安定対策事業

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

ア 個体登録状況

(単位：頭)

黒毛和種	褐毛和種	短角・無角	乳用種	交雑種	その他	計
5,235	0	2	3,390	8,085	2	16,714

イ 補てん金交付状況

(単位：頭・円)

対象期間	品 種	交付対象頭数	交付金額
令和 7 年度 (年 2 月～ 令和 8 年 1 月)	肉専用種	2,420	66,482,282
	交雑種	1,952	16,032,191
	乳用種	3,726	112,239,957
合 計		8,098	194,754,430

(2) 肉用子牛生産者補給金制度

ア 品種区分別個体登録頭数(登録期間令和 7 年 1 月～12 月)

(単位：頭)

黒毛和種	乳用種	交雑種	計
2,060	43	1,976	4,079

イ 補給金交付状況

令和 6 年度第 4 四半期にその他肉専用種の発動があったが、当協会は該当なし。

令和 7 年度第 1～3 四半期まで平均売買価格が保証基準価格を上回ったため補給金の交付はなかった。

(3) 優良和子牛生産推進緊急支援事業

(参加契約者 8 戸、令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月に販売された和子牛が対象)

令和 7 年度 4 月～12 月まで平均価格が発動基準価格を上回ったため、奨励金の交付はなかった。

(4) 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業

優良和子牛生産推進緊急支援事業に加えて、和子牛のブロック別平均価格が発動基準を下回った場合に、産地基盤強化に取り組む和子牛生産者に対し、奨励金 (1 万円/頭)を交付する事業を (公社) 栃木県畜産協会の委託を受け、事業参加者の取りまとめを行った。

(参加契約者 16 戸、令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月に販売・保留された和子牛が対象)

令和 7 年度 4 月～12 月まで平均価格が発動基準価格を上回ったため、奨励金の交付はなかった。

8. 養豚関係事業

(1) 肉豚経営安定交付金制度

ア 契約生産者 19 戸 事業対象頭数 120,180 頭

イ 交付状況

令和 7 年度第 1 四半期から第 4 四半期通算で標準的販売価格が標準的生産費を上回ったため、概算払いの交付金交付はなかった。

9. その他の事業

(1) 家畜防疫互助基金支援事業

豚熱の発生が続き、基金が大幅に減少する見込みのため、豚の生産者積立金の追加納付金を徴収・納付した。

(追加納付分)

(単位：戸、頭、円)

契約区分	戸数	家畜の区分	頭数	単価	合 計
《家族型》	16	繁殖用種豚（雌）	3,437 頭	204 円	701,148
		繁殖用種豚（雄）	113 頭	204 円	23,052
		肥育豚	27,950 頭	36 円	1,006,200
家族型 計			31,500 頭		1,730,400
《企業型》	14	繁殖用種豚（雌）	14,379 頭	228 円	3,278,412
		繁殖用種豚（雄）	237 頭	228 円	54,036
		肥育豚	144,067 頭	42 円	6,050,814
企業型 計			158,683 頭		9,383,262
合 計			190,183 頭		11,113,662

(2) 放射性物質検査に係る肉用牛出荷調整について

東電原発事故に伴う肉用牛の放射性物質検査を円滑に進めるため、生産者から食肉センターへの出荷計画書を速やかにチェックし、県畜産振興課へ送付した。

10. 関連事業

(1) 研修会・情報活動

各種事業に関する情報やリーフレットを飼料荷受組合や特約店等に提供した。

(2) その他

- ア 県及び畜産関係団体との連携
- イ 畜産関係資料の収集及び提供
- ウ その他商系基金確立のための事業

11. 会員の異動

(1) 会員の異動

	期首会員数	期中の動向		期末会員数
		加 入	退 会	
飼料荷受組合	12			12
配合飼料製造業者	11			11
合 計	23			23

賛助会員 15 名

以上